



美術館の魅力
日常生活をより豊かに

展示されている作品は、どれも作った人の想いがギュッと詰まっています。そうした作品を見て、考え、感じることで、心を豊かにすることができます。

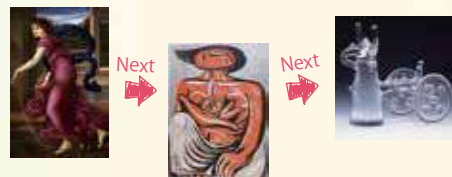
それができたら、今度は美術館の外でも同じように見て、考え、感じてみてください。美しいものは、何も美術作品だけではありません。身近なところにある草花や、普段歩いている道路の片隅でも、新しい発見や感動を見つけられると思います。



学芸員のイチオシ！
美術作品のオススメ観賞方法

展示室にはたくさんの作品が並んでいるので、全部をじっくり見ていると、だんだんと疲れてきてしまいますよね。

そこで、私がオススメする鑑賞方法はズバリ「1つか2つ、気に入った作品があればいいな」と気楽に見ることです。全体を一回ざっと見た後に、気に入った作品だけをじっくり見れば、疲れずに楽しく鑑賞できますよ。



サクサク見ていいんですね



美術の世界を身近に！
子どもから大人まで楽しく美術体験

美術に親しんでもらえるよう、子どもたちの鑑賞体験をサポートをしたり、夏休みや冬休みに小・中学生による作品展などを開催しています。

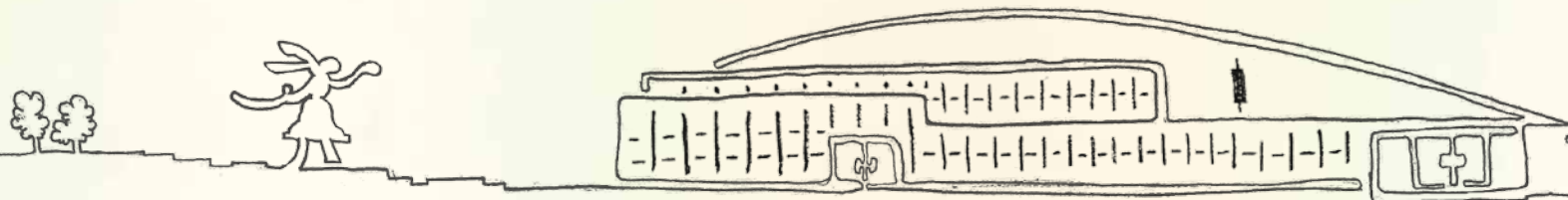
親子で楽しめるイベントもありますので、気軽に参加してくださいね。



子どもたちみんなで鑑賞中



夏休みのワークショップ



郡山市立美術館 基本データ (☎956-2200)

- 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝・休日は開館、翌日休館)
- 観覧料 企画展…展覧会により異なります(企画展のチケットで常設展も観覧可)
常設展…一般200円、高校・大学生100円
※中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- 収蔵作品 約2,200点(イギリス近代美術、日本の近代美術、郡山ゆかりの美術など)



見どころいっぱい！
はじめての
郡山市立美術館

美術館に来るのは初めてなので、何かあるのが楽しみです！



望月 慎太郎さん
沙希さん(大槻町)

皆さんが美術館と聞いて思い浮かべるのは「絵画や彫刻を静かに鑑賞する」というような、堅いイメージではないでしょうか？

郡山市立美術館はそれだけではありません。美術品に親しんだり、自分で作品を制作する講座や、各種イベントなどが開催されていて、楽しいことが盛りだくさん。

今回、そんな美術館を訪れたのが、最近市内に引っ越してきたばかりの望月さん夫妻。学芸員の田中さんに案内してもらい、美術館の魅力をたくさん見つけてきました。

美術館の魅力をたっぷり紹介します



学芸員
田中 有沙子さん

美術館って
どんなところ？

主に美術作品の展示や収集を行っています。展示には常設展と企画展の二種類があり、常設展では、当館の収蔵作品を展示していて、年に4回ほど入れ替えをしています。来館するたびに、新しい作品に出会えるかもしれませんよ。

また、テーマに沿った作品を展示する企画展では、絵画はもちろん、彫刻や工芸品など、さまざまなジャンルの作品が展示されます。

そのほか、作品の展示以外にも、美術館ではさまざまなイベントを開催しているんですよ。



展示だけじゃ
ないんですか？

はい。例えば、階段ホールで開催しているミュージアム・コンサートは、楽器の生演奏が館内に響き渡り、迫力満点。

また、各分野の専門家に教わる



ミュージアム・コンサート

いろいろな楽しみがあるんですね！

ワークショップでは、鉄道ジオラマや手作りカメラを制作するなど、毎回大人気です。

さらに、多彩なジャンルで活躍されている方が講師を務める美術文化講座「アート・テーク」では、これまでに狂言師の野村萬齋さんや、染織家で人間国宝の志村ふくみさんなど、の著名な方をお招きしています。



志村 ふくみさん
(染織家・人間国宝)



野村 萬齋さん
(狂言師)

そのほか、図書室やミュージアムショップなど、展示室以外は無料でご覧になれますので、時間の許す限り見てみてくださいね。

Interview



郡山市立美術館 佐治 ゆかり 館長

郡山市民の方は、みなさんしっかりとした考えを持っているので、単に有名な作品を集めても見てもらえません。そのため、展示のコンセプトや何を伝えたいかなど、よく考えた上で企画展や常設展を開催しています。その結果、他の美術館ではあまり扱われないようなテーマになることもあり、当館独自の企画につながっています。

また、美術普及にも力を入れており、小・中学生の校外授業に当館を利用してもらうほか、各種講座やワークショップなどを多数開催し、美術への興味を持ってもらうきっかけづくりをしています。

これからも、美術への理解が深まり、市民の方がより楽しい時間を過ごせるようなお手伝いをしていきたいと思っています。

郡山市立美術館の特徴

その1 イギリス近代美術

日本と相互に影響を与えたイギリス近代美術を約500点収蔵。そのコレクションは日本では珍しく、内外から高く評価されています。



サー・ジョージア・レイノルズ「エグリントン伯爵夫人、ジェーン」

その2 ユニークな企画展

郡山市フロンティア大使の作曲家・湯浅譲二さんの展覧会や、さまざまなサブカルチャーをテーマにした企画展など、美術館ならではの視点で幅広いジャンルを発信しています。



Yuasa Joji による湯浅譲二展

その3 美術館の建物

BSC建築賞、日本芸術院賞、公共建築賞を受賞した美術館。来館者が利用しやすいだけでなく、木目が刻まれた壁面や、一面ガラス張りの開放的なエントランスは、訪れた方に落ち着いたひとときを提供します。

常設展示室

常設展示室では、美術館の収蔵作品を展示しています。2月4日(水)からは、昨年の美術館コレクションの人気投票で一位となった、安藤重春「雨の華」のほか、郡山ゆかりの美術品を多数展示しています。

また、定期的に展示作品を入れ替えていますので、多彩な収蔵作品を、一年を通してお楽しみください。



収蔵作品



安藤重春「雨の華」 三木宗策「威容抱慈」(坂上田村麻呂像) J・M・W・ターナー「カンバーランド州のコールダー・ブリッジ」



みんなで仲良く並んでみました。



次はこちらです



企画展示室

企画展示室では、独自の企画や、国内外の美術館の協力により、さまざまな展覧会を年4～5回開催します。

現在は舟越保武彫刻展(関連17ページ)を開催しているほか、過去には「藤城清治の世界展」や、郡山市ゆかりの作家「佐藤静司彫刻展」など、特色ある展覧会を開いていますよ。



コインロッカーは無料で利用できます。

過去の主な企画展示会



佐藤静司彫刻展 広重二大街道 浮世絵展 英国肖像画展

開館以来、最も入場者数の多かった企画展(入場者数47,476人)



藤城清治の世界展

図書室

図書室には、美術関連の書籍を多数取りそろえています。普通の図書館には無い思いがけない発見があるかもしれません。備え付けのテーブルでゆっくり読むことができますよ。



各種イベントを開催 (創作スタジオ・多目的スタジオ)

各スタジオでは、講演会やワークショップなど、さまざまなイベントを開催しています。



講演会

ワークショップ

郡山市立美術館内MAP

館内各所をご案内します♪



常設展示室に意外な作品が!?



「スーパーニッカ」手吹きボトル

NHK連続テレビ小説「マッサン」でおなじみの、ニッカウヰスキーの創始者である竹鶴政孝さんが、最愛の妻リタさんが亡くなった翌年に、鎮魂の想いを込めて造りました。

デザインを手がけたのは、本市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎さん。一本ずつ手で作られるボトルのため、当時の生産量は大変少なく、幻のウイスキーとさえ言われていました。5月10日(日)まで常設展示室でご覧いただけます。

カフェ「juju130CAFE」

美術作品を見ていると知らないうちに頭を使うので、脳もお疲れモード。そんな時は、美術館内にあるこちらのカフェで、絶品デザートを食べればリフレッシュ。



ご来店をお待ちしています。



おいしいコーヒーやデザートに、2人も大満足

郡山市立美術館友の会

会員随時募集中

美術に興味がある方、もっと知りたい方、友の会に入会してみませんか？実技講座や美術館めぐりバスツアーを通して、美術館のさらなる魅力を知ることができます。入会方法など、詳しくは美術館までお問い合わせください。

- 会員特典
- ①受付で会員証を提示すると、入館無料
 - ②友の会会報と美術館ニュースを随時送付
 - ③友の会主催行事への参加



郡山市立美術館友の会ニュース「タッチ」

展示室の外にも作品があります。

ちょっとひと休み

景色を楽しむ望月さん夫妻

はじめての美術館を終えて

美術館をすっかり堪能した望月さん夫妻。最初は美術作品を見るだけだと思っていたが、各種イベントや講座のほか、図書室、おいしいカフェなど、新しい発見がいっぱいあり、また来るのが楽しみだそう。最後はミュージアムショップで気に入った作品のポストカードを見つけ、おみやげにしていました。

これまで美術館に足を運ぶことがない方も、ぜひ訪れて、自分のお気に入りを見つけてください。

